



木協インフォメーション

平成27年10月号

(一社) 香川県木材協会・香川県木材産業協同組合

TEL 087-881-9343

<http://www1a.biglobe.ne.jp/k-mokkyo/>

2015 ウッディフェスティバルの開催について

讃岐の秋の行事としてすっかり定着した木材需要拡大の最大のイベントであります2015ウッディフェスティバルは、今回で28回目を迎えます。

今年は、例年どおり高松市林町サンメッセ香川で10月10日(土)~10月11日(日)の両日開催されます。会員の皆様には、9月の中旬にウッディフェスティバルの案内チラシを送付させていただきました。ウッディフェスティバルは県内の川上・川下の森林・林業関係10団体が加入している香川県木材需要拡大協議会の主催で開催されます。

香川県木材協会副会長の山田健二実行委員長の下で、2015ウッディフェスティバル実行委員会を組織して、10月10日の開催に向けて鋭意準備をすすめております。

今年は「香り豊かな 香川のヒノキ」のテーマで、森のチカラでかがわを元気にするため、森林の適正な整備につながる香川県産材（ヒノキ）をメインとした木材の需要拡大を勧めてゆくために、「さざなみルーム」の展示を行ないます。

会員各位の絶大なるご協力をお願いいたします。また時節柄お忙しいところ恐縮ですが、両日の当番については、例年同様何卒よろしくご協力のほどお願いいたします。

平成27年版木材PRポスターが完成

毎年好評をいただいております木材PR用のポスターが完成して、皆様には既に配布しておりますが、今年のテーマは「森と繋がる日々」で、夫婦二人と男の子・女の子が頬笑んでいる内容となっています。

住宅購入層を対象に、現代人の関心の高い「自然に寄り添う暮らし」を強調しています。ポスターを見て癒しを感じるレイアウトとなっています。

木材PR用のポスターをご活用ください。ポスターは若干の残部がありますので希望があればおしらせください。

想像してみようこれからの住まい

10月は住生活月間です。私達にとって理想の住まいとはどんな家でしょう。子供からお年寄りまで安全・安心に暮らせて、環境にも優しい家を長く住み継いでいく・・・

住まいの未来を想像することは、豊かな暮らしの創造につながります。

家族一人一人が、安全に暮らせる家 次の世代まで、長く暮らせる家
地域みんなが、健やかに暮らせる家 環境に地球に優しい家 等があります。
10月の住生活月間では、住宅に関するイベントが各地で開催されます。

平成26年度森林・林業白書より

森林資源の循環利用と木材産業

森林資源の循環利用を推進していくためには木材を生産する林業や、木材製品の消費者・実需者だけでなく、木材を木材製品に加工し流通させる木材産業の存在が不可欠です。森林資源の循環利用には、林業関係者や消費者・実需者だけでなく、両者の間に立ち森林資源と木材利用をつなぐ役割を果たす木材産業の存在が不可欠です。

木材産業は、企業として必要な収益を確保しながら、原木を加工して木材製品を製造・販売するという事業活動を行っており、こうした活動を通じて森林資源の循環利用も担っています。

林業により生産された国産材原木や商社により輸入された外国産の原木は、製材工場、合板工場、木材チップ工場で加工されます。これらの木材製品は、住宅メーカーや工務店、製紙工場、発電・熱利用施設等の実需者に供給され、最終的には住宅・公共建築物、紙・板紙エネルギー等として消費者に利用されます。

また、素材生産業者、木材加工業者、実需者等は原木や木材製品を購入・販売するにあたって、木材市売市場、木材販売業者等を通じる場合もあれば、木材流通業を介さずに直接取引を行う場合もあります。

国産材原木の流通において、素材生産業者の出荷先は、木材加工業者4割、原木市場4割、木材販売業者が2割となっており、また木材加工業者それぞれにおける主な入荷先は、製材業では原木市場が約5割、素材生産業者が約3割と、合板製造業では木材販売業者が約4割、商社が約3割、素材生産業者が約2割、原木市場が約1割と、木材チップ製造業では素材生産業者が約5割、自ら素材生産したものが約1割となっています。

以上の様に、木材業界への大切な使命として、消費者・実需者の木材需要に応じるとともに、新たな木材製品の開発・提案等によって木材需要を創出することで、社会における木材利用を推進する大切な役割を担っております。

事務局だより

フォークリフトの特定自主検査は、法律により1年に1回受けることになっております。必ず検査を受けるようにしてください。

検査のご用命は、香川県木材産業協同組合までどうぞ 検査員 松添政志

